

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：消防防災課
 担当名：消防広域担当
 内線：8173

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B22	埼玉県特別機動援助隊教育訓練等事業費			一般会計	総務費	防災費	消防防災費	埼玉県特別機動援助隊訓練費	
事業期間	平成18年度～	根拠法	消防組織法第29、30、43条		戦略項目	05	大規模災害への備え		
					分野施策				
1 事業概要				5 事業説明					
大規模な災害発生時に県民の生命を守るため、平成18年7月発足の埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)及び緊急消防援助隊の効率的な運用を図る。実災害における救出・救助の連携強化のため、絶えず訓練を行う必要がある。 (1) 埼玉県特別機動援助隊充実強化事業 △780千円 留保額の減及び契約差金による減 (2) 埼玉県特別機動援助隊教育訓練事業 △35千円 (3) 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練への参加等 △36千円 (4) 緊急消防援助隊活動支援費 △238千円 留保額の減				(1) 事業内容 ア 埼玉県特別機動援助隊充実強化事業 32,055千円 高度な救助活動を実現するため、また、埼玉SMART構成機関の機動救助隊(消防)、埼玉DMAT隊及び防災航空隊の現場での連携強化を図るために必要な資機材を整備する。 イ 埼玉県特別機動援助隊教育訓練事業 4,008千円 技術向上、連携強化を図るため、研修・訓練を実施する。 ウ 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練に参加(毎年開催) 355千円 エ 緊急消防援助隊埼玉県大隊に対する後方支援体制の充実を図るため、物品等を提供する。 2,383千円 (2) 事業計画 ア 資機材の購入(4～9月)、資機材の配備(10～3月) イ 基礎研修A・B・C、応用研修、合同訓練の実施(通年) ウ 関東ブロック合同訓練(栃木県、10月開催) エ 物品等の購入・配備(通年) (3) 事業効果 県内外の大規模災害等への地域防災力の強化が図られる。 平成26年度 SMART基礎研修7回・応用研修1回・合同訓練1回・情報伝達訓練1回 研修・訓練の参加者521人 平成27年度 SMART基礎研修7回・応用研修1回・合同訓練1回・情報伝達訓練2回 研修・訓練の参加者793人 平成28年度 SMART基礎研修7回・応用研修1回・合同訓練1回・情報伝達訓練1回 (2/10現在) 研修・訓練の参加者約900人(参加者数は2/10現在) (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 平成28年度SMART合同訓練は看護学生が要救助者役として参加した。また、訓練参加協力団体から訓練用事故車両の提供を受けた。 (5) 補正予算の概要 電磁波探査装置等の契約差金による減額(備品購入費)及び配当留保額の減額(旅費、需用費、役務費)					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.2人=20,900千円									
				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
予算額									
決定額	△1,089							△1,089	37,709
現計額	38,798							38,798	